



野城 智也



荻本 和彦

IoT (Internet of Things) 実現の具体的道筋を考える

IoT 特別研究会

RC-88

1. 代表幹事

野城智也（東京大学 生産技術研究所 教授）

幹事

荻本和彦（東京大学 生産技術研究所
エネルギー工学連携研究センター 特任教授）

連絡先

橋本かおり（荻本研究室秘書）

Tel : 03-5452-6714

Fax : 03-5452-6715

e-mail : kaohashi@iis.u-tokyo.ac.jp

2. 主旨

ビッグデータ活用、ウェアラブル端末の出現、自動運転自動車の実証など新しいパラダイムが提唱されつつある。それを支える基盤となるIoT (Internet of Things) の具現化に向けて、ICT領域からのアプローチは多く提唱されているものの、Things側の取り組みはまだまだ活発になっていないのも実情である。

そこで、本特別研究会では、IoT実現のために、ICT世界とThings世界のミッシングリンクをどのようにすれば克服できるかをテーマとする。具体例として、生産技術研究所のCOMMAハウス等を舞台に、大手家電メーカー等と構築したテストベッドの有効性を検討するとともに、同様の構造が他の産業領域でも機能し得るかを研究する。

さらに、その研究推進と同時平行的に、それらを構成するソフトウェアや、全体機能の維持・運用、情報の取り扱いに関する課題等についても幅広く研究し、これを必要とする事業者等に広く便益を提供する中間組織の在り方を取り纏めることを目的とする。

本特別研究会は、広くThingsサイドの方々の参加を歓迎するとともに、本学・坂村健教授などITサイドのトップレベル専門家の協力を頂きながら推進する。

3. その他

参加 費：賛助員の場合 : 20万円（別途賛助員年会費1口10万円がかかります）

非賛助員の場合：30万円

定 員：特になし

運営 方 法：2ヶ月に1回程度特別研究会を開催する。さらに、テーマ毎に分科会を関係者で組織し、詳細な検討を進める。必要に応じ、東京大学との共同研究を行う。

“COMMAハウス”

東京大学
生産技術研究所
スマート実証ハウス
(東京都目黒区駒場)



テストベッド構成図

